

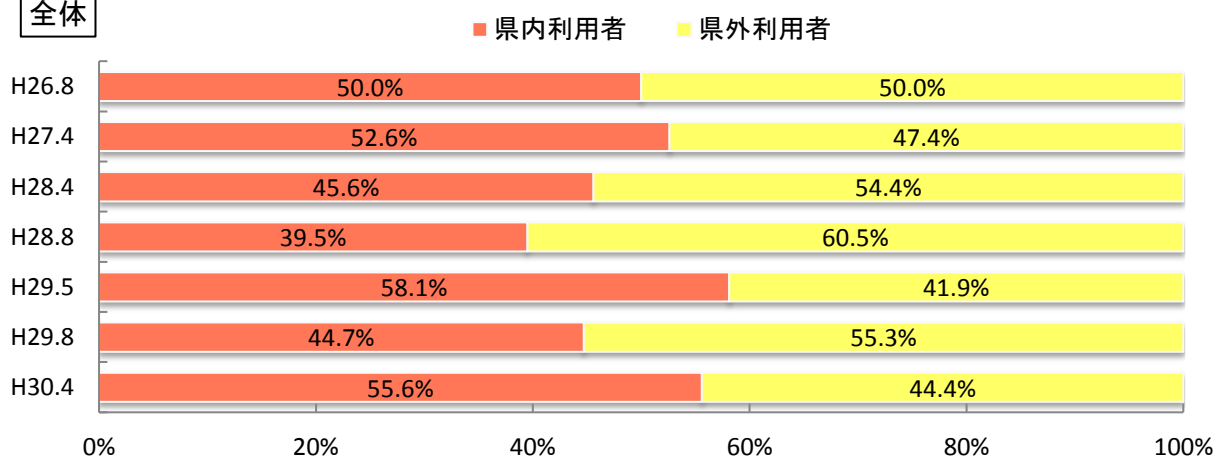
平成30年度 第1回 信州まつもと空港搭乗者アンケート調査 (札幌便・福岡便) (平成30年4月19日～25日) における利用者の動向

- | | |
|----------|-----------------------------|
| 1 実施期間 | 平成30年4月19日(木)～25日(水) |
| 2 調査方法 | 信州まつもと空港搭乗待合室で配布し同室内で回収する方式 |
| 3 調査対象 | 信州まつもと空港定期便の出発便の搭乗者 |
| 4 有効回収票数 | 札幌便 212票 福岡便 346票 合計 558票 |

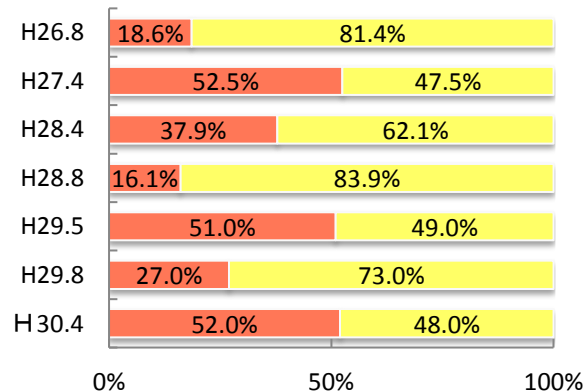
【県内・県外利用者の状況】

定期便全体では、県内利用者の割合が55.6%、県外利用者の割合が44.4%となった。
路線別では、福岡便は、県内利用者の割合が52.0%、県外利用者の割合が48.0%となり、ほぼ半々という結果となった。
一方、札幌便では、県内利用者の割合が61.3%、県外利用者の割合が38.7%となっており、過去の調査と同様に県内利用者の割合が高くなっている。

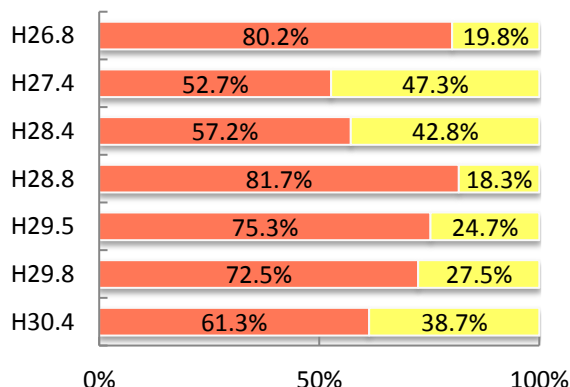
全体



福岡便



札幌便

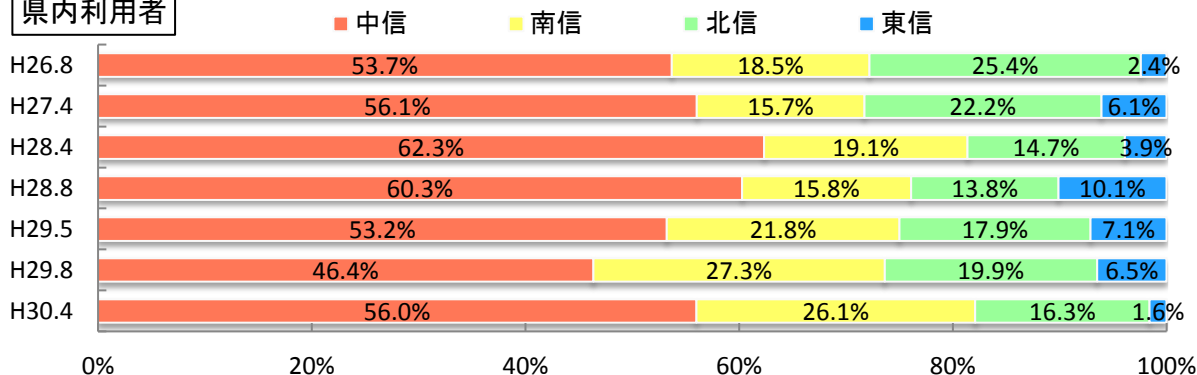


【利用者の居住地】

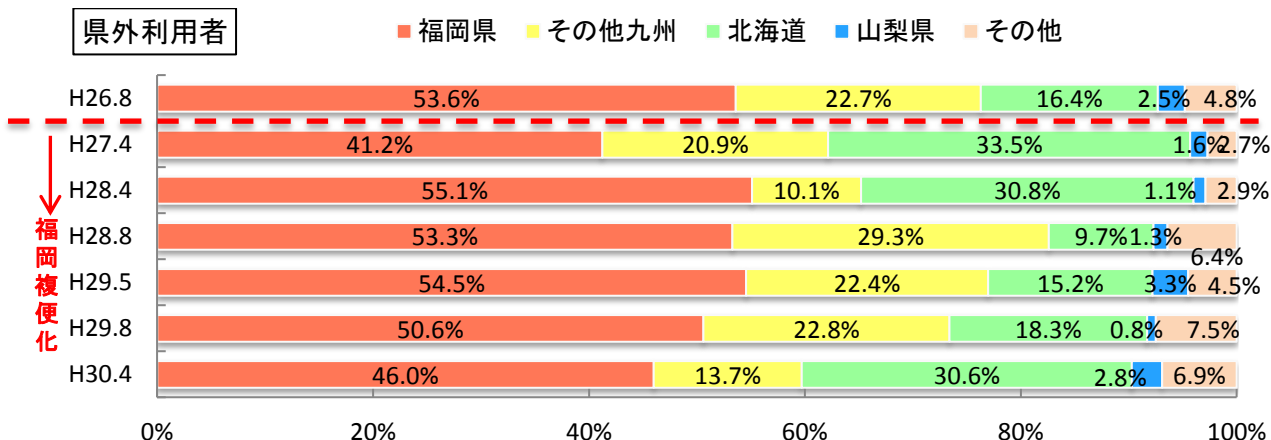
居住地別に見ると、県内利用者では中信が56.0%と、昨年5月の調査と同様に半数以上を占めている。南信は昨年から4.3ポイント増の26.1%、北信は1.6ポイント減の16.3%、東信は5.5ポイント減の1.6%という結果となった。

県外利用者の割合を見ると、福岡県からの利用者は全体の46.0%、その他九州地区からの利用者は13.7%、北海道からの利用者は30.6%であった。また、隣県の山梨県からの利用者は2.8%という結果となった。

県内利用者



県外利用者



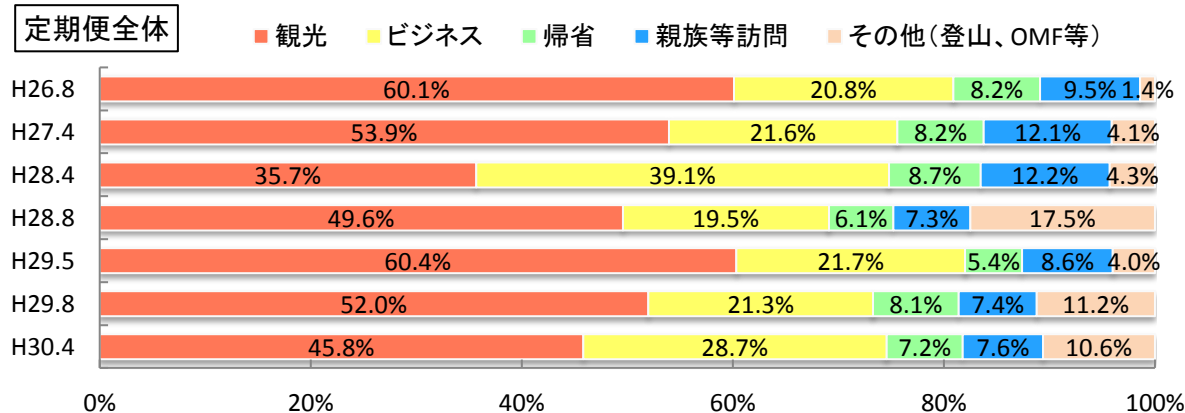
【旅行目的】

旅行目的については、定期便全体で、観光目的が45.8%、ビジネス目的が28.7%という結果となった。

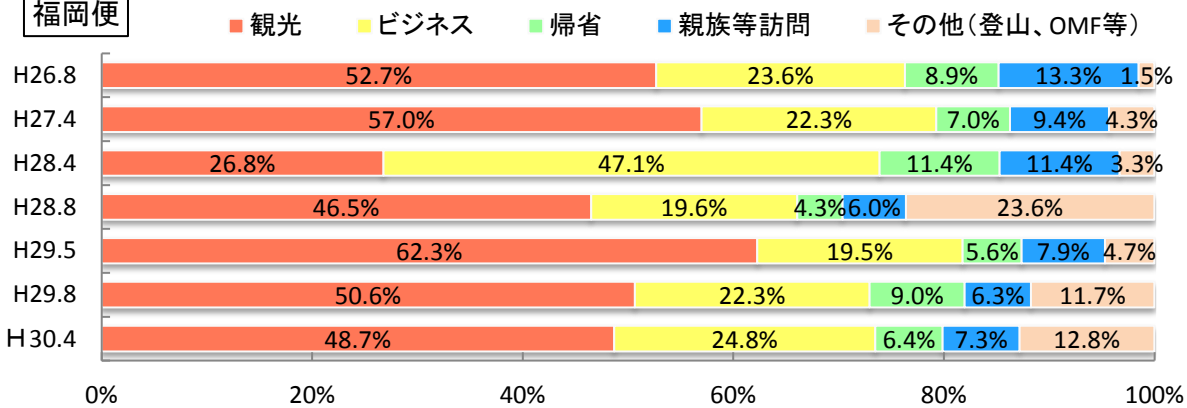
路線別に見ると、福岡便では観光目的が48.7%、ビジネス目的が24.8%であった。

札幌便については、ビジネス目的の割合が35.1%と、過去の調査と比較して高い割合を示す結果となった。

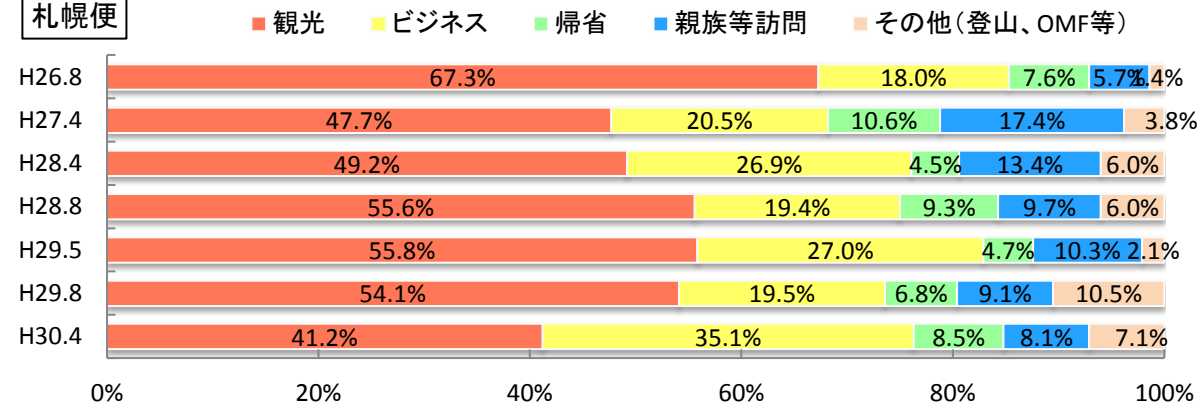
定期便全体



福岡便

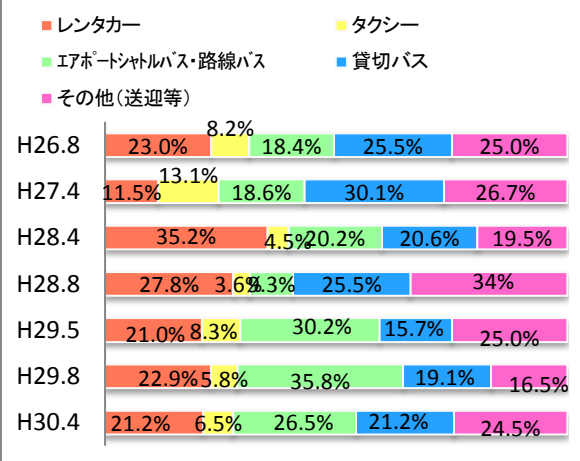


札幌便

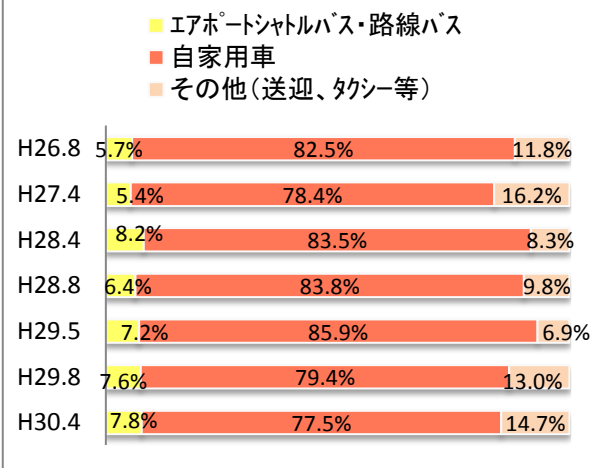


【参考:その他調査項目】

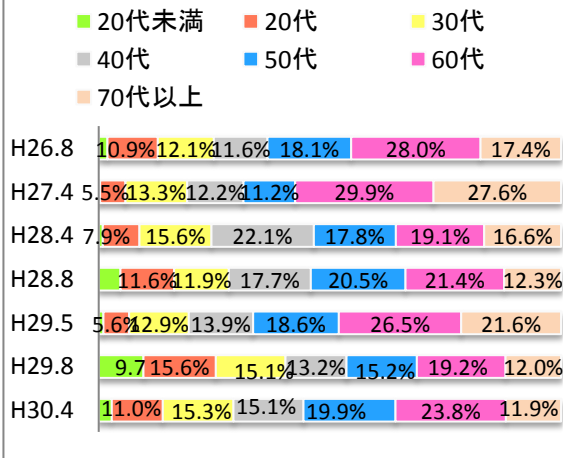
県外利用者 空港からの交通手段



県内利用者 空港までの交通手段



利用者年齢層



旅行日程

